

## 12

## 高熱伝導エポキシ樹脂

## 特徴

## 高熱伝導率

➤ 結晶性エポキシ樹脂の1.2倍以上

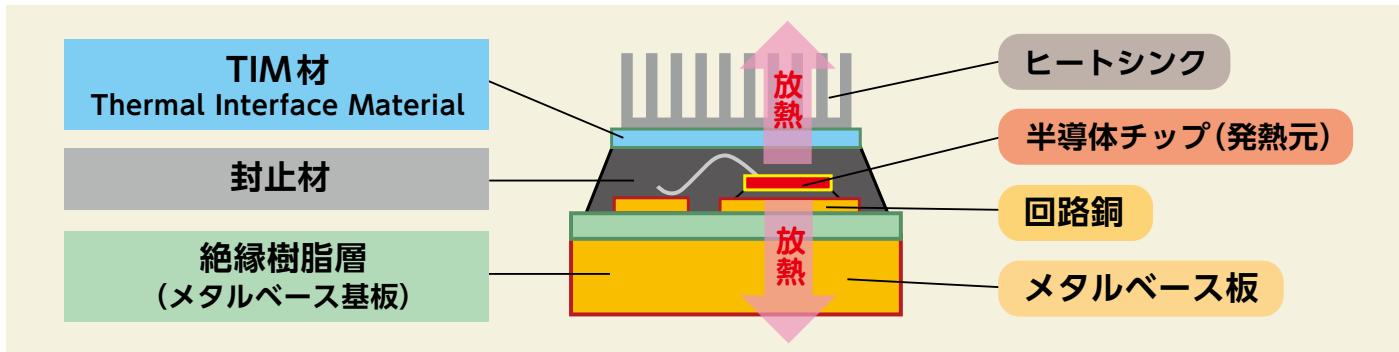
## 高耐熱性

➤ 180°C以上の高Tg、熱分解安定性も良好

## 良溶剤溶解性

➤ 結晶の析出を抑制し、取扱い性良好

## 用途イメージ



## 特性 / 仕様

エポキシ樹脂		開発品	エポトート YDC-1312	エポトート YSLV-80XY
樹脂物性	エポキシ当量	[g/eq.]	200-220	170-180
	溶融粘度 (150°C)	[mPa·s]	600-1000	2
	軟化点	[°C]	65-80	—
	融点	[°C]	—	142
	溶剤溶解性*1	—		
	Tg(TMA)	[°C]	185	139
硬化物物性 (※2)	CTE(α1)[60°C-80°C]	[ppm/°C]	58	56
	CTE(α2)[250°C-270°C]	[ppm/°C]	181	201
	Tg(DMA,tanδ)	[°C]	209	153
	高温での貯蔵弾性率 E' (260°C)	[MPa]	109	16
	10%重量減少温度(TG-DTA)	[°C]	408	386
	残炭率(700°C)	[wt%]	40	18
	熱伝導率	[W/m·K]	0.25	0.18
				0.20

※1 溶剤溶解性：エポキシ樹脂を加熱溶解後、50°Cにて30分静置後の溶液を観察。(使用溶媒：メチルエチルケトン、樹脂濃度：70wt%)

※2 【硬化物作製条件】硬化剤：フェノールノボラック、触媒：トリフェニルホスフィン、樹脂単独系、硬化温度：180°C、3時間、

【物性測定条件】TMA、TG-DTA：窒素雰囲気下にて測定、熱伝導率：レーザーフラッシュ法